

お互いのよさを認め合える、人間関係づくり

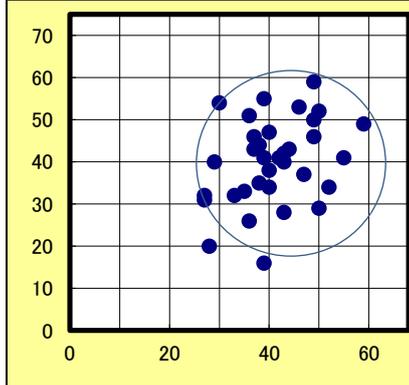
—— 言葉と文字で「伝える」「つながる」「広がる」ブラボータイムの実践を通して ——

生徒指導・教育相談班 岩崎 晶子 (中学校教諭)

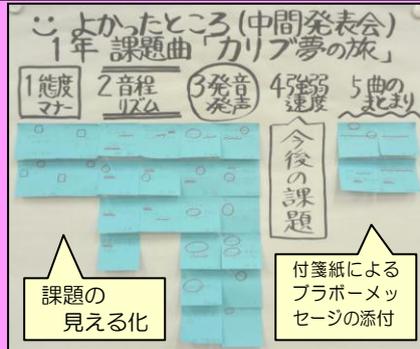
研究の概要

本研究は、中学1年生の音楽科において、お互いのよさを認め合える人間関係づくりを目指したものである。小集団や1/2合唱などの学習形態の中で、相手のよいところを言葉と文字で伝え合う活動「**ブラボータイム**」を意図的・段階的に取り入れることにより、共通の感動体験のできる学級集団を育てていくための実践である。

実践内容 C&S 質問紙 5月

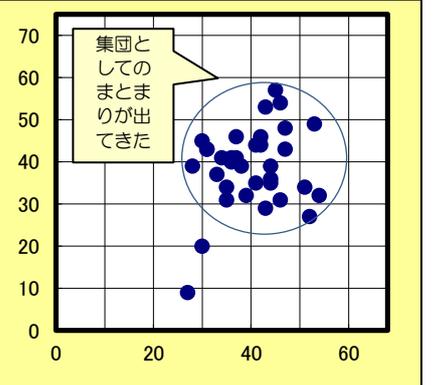


クラス合唱中間発表会を終えて

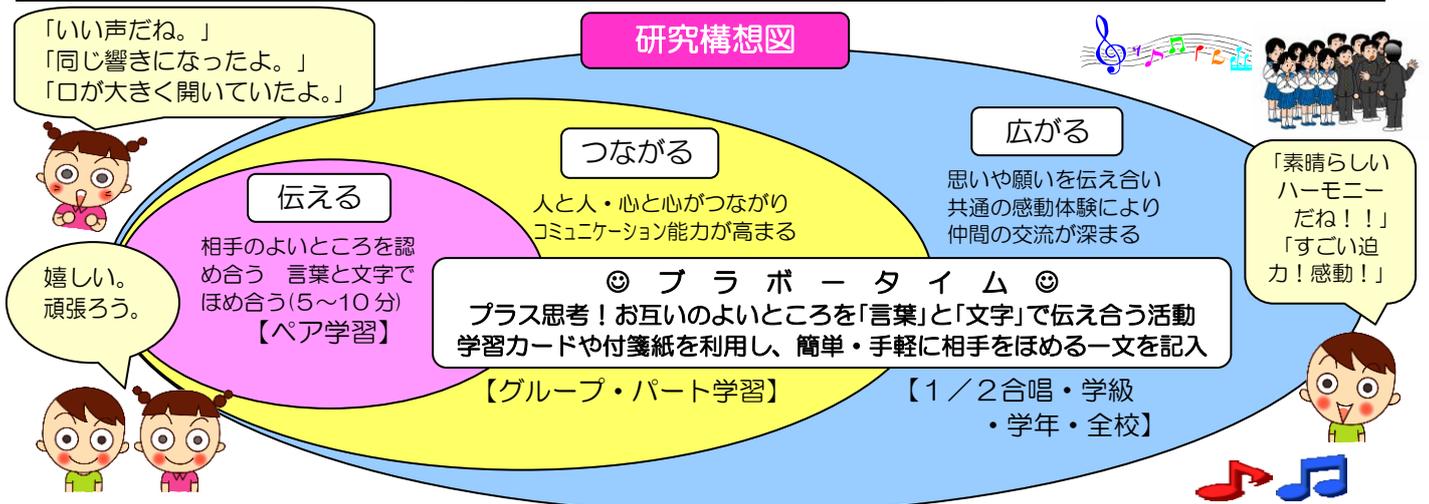


3年から1年へのブラボータイムメッセージ

C&S 質問紙 11月



研究構想図



◎ブラボータイム【活動内容】

導入【ペア学習】 隣や前後の席同士でペアを組み、同じ高さの声やIの和音(3度)を作る。学習カードにメッセージ記入。

展開【グループ・パート】 4~5人のグループでパート練習をする。指揮・音程・リズム拍子・手拍子を1人1役担当することで活発な活動となる。練習後、それぞれのメッセージを付箋紙に記入。

まとめ【1/2合唱・学年】 クラスを2つに分け、演奏を聴き合う。思いや願いをクラス全体に伝え、表現の向上を図る。同じパートの仲間にメッセージを送る。

◎ブラボーカード【生徒の記述】

<p>例◎正しい音程で歌えた。(〇子) ♥その時感じた気持ちを書く ◎低い声に「ひびきかかた。(A男) ♥次は、高い声もかきかかろう!</p>	<p>◎指揮棒はちゃんと同じ強さでふたつ。(A子) ♥♡うれしい ◎ちゃんと指揮ができてよかった。(C子) ♥♡うれしいです。</p>	<p>◎リズムがわかりやすくて。(B子) ♥♡よかった。 ◎指揮棒の仕度しやすくて声も大きかった。(D子) ♥♡よかった。</p>	<p>M. さんへ ◎大きな声のあかしたソプラノの声が素敵でとてもよかったです。(R子) ♥♡こちらこそ頑張らなくていい声を出してあげれば私も出ていけたと思います。</p>
---	---	---	--

成果

★「最初は苦手でした。段々と苦手ではなくなりました。」「嬉しかったです。」「これからも〇〇いいねとほめていきたいです。」(生徒の感想より) 相手のよいところを言葉と文字で伝え合う活動**ブラボータイム**を通して、相手のよさに気づき、相手の意見や気持ちを理解しようとなることができるようになってきた。
★お互いに認め合える人間関係を築いていくために、生徒の実態と目的に合った**学習形態の工夫**とともに、**ブラボータイム**を実施することで、一人一人が意欲的に取り組み、全員で一つの合唱を作り上げる共通の感動体験となった。特に、**グループ学習(役割分担)**・**1/2合唱**では、生徒の真剣な取組が印象的だった。

課題

★学年主任として学級担任と連携し、常時活動でも継続的に認め合える人間関係づくりをすすめていくこと。また、本活動を他教科へ広め、生徒が**リーダーシップ**を取れるようにしていくこと。